



SNMP V1/V2c の設定

この章では、ネットワーク管理システムが Cisco Unified Communications Manager をモニタできるように SNMP バージョン 1 および 2c を設定する方法を説明します。この章は、次の項で構成されています。

- [コミュニティストリングの検索 \(P.15-2\)](#)
- [コミュニティストリングの設定 \(P.15-3\)](#)
- [コミュニティストリングの設定値 \(P.15-4\)](#)
- [コミュニティストリングの削除 \(P.15-6\)](#)
- [SNMP 通知先 \(P.15-7\)](#)
- [通知先の検索 \(SNMP V1/V2c\) \(P.15-8\)](#)
- [通知先の設定 \(SNMP V1/V2c\) \(P.15-9\)](#)
- [通知先の設定値 \(SNMP V1/V2c\) \(P.15-10\)](#)
- [通知先の削除 \(SNMP V1/V2c\) \(P.15-11\)](#)
- [関連項目 \(P.15-12\)](#)



ヒント

SNMP バージョン 3 を使用する場合は、[P.16-1](#) の「[SNMP V3 の設定](#)」を参照してください。

コミュニティ スtring の検索



ヒント

[SNMP Community String Configuration] ウィンドウに [Add New] ボタンが表示されるのは、[Find] ボタンをクリックした場合のみです。コミュニティ スtring が存在しない状況でコミュニティ スtring を追加する場合は、[Find] ボタンをクリックし、ウィンドウが更新されるまで待ちます。[Add New] ボタンが表示されます。

コミュニティ スtring を検索するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [Snmp] > [V1/V2c] > [Community String] の順に選択します。

検索と一覧表示のウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [Find Community Strings where Name] ドロップダウン リスト ボックスから、コミュニティ スtring の検索に使用する特定の検索基準を選択します。

ステップ 3 検索するコミュニティ スtring を入力します。

ステップ 4 [Server] ドロップダウン リスト ボックスから、コミュニティ スtring が存在するサーバのホスト名または IP アドレスを選択します。

ステップ 5 [Find] をクリックします。

[Find] ボタンをクリックすると、[Add New] ボタンが表示されます。検索結果が表示されると、[Apply to All Nodes] チェックボックスが表示されます。

ステップ 6 検索結果に表示されているいずれかのオプションの設定をクラスタ内のすべてのノードに適用する場合は、オプション名の横のチェックボックスをオンにし、[Apply to All Nodes] チェックボックスをオンにします。

ステップ 7 結果のリストで、表示するコミュニティ スtring をクリックします。

ステップ 8 コミュニティ スtring を追加または更新する場合は、[P.15-3](#) の「コミュニティ スtring の設定」を参照してください。

追加情報

[P.15-12](#) の「関連項目」を参照してください。

コミュニティストリングの設定

SNMP エージェントはコミュニティストリングを使用してセキュリティを提供するので、Cisco Unified Communications Manager システムで、管理情報ベース (MIB) にアクセスするためのコミュニティストリングを設定する必要があります。Cisco Unified Communications Manager システムへのアクセスを制限するには、コミュニティストリングを変更してください。コミュニティストリングを追加、変更、削除するには、[SNMP Community String Configuration] ウィンドウにアクセスします。

手順

ステップ 1 P.15-2 の「コミュニティストリングの検索」の手順を実行します。

ステップ 2 次のいずれかの操作を実行します。

- 新しいコミュニティストリングを追加する場合は、[Add New] ボタンをクリックし、**ステップ 3**に進みます。
- 既存のコミュニティストリングを変更する場合は、コミュニティストリングを検索し (P.15-2 の「コミュニティストリングの検索」を参照)、編集するコミュニティストリングの名前をクリックして、**ステップ 3**に進みます。
サーバ上のコミュニティストリングの名前を変更することはできません。
- コミュニティストリングを削除する場合は、P.15-6 の「コミュニティストリングの削除」を参照してください。

ステップ 3 表 15-1 の説明に従って、設定値を入力します。



ヒント ウィンドウ内の各設定に対して入力した情報をすべて削除するには、設定を保存する前に、[Clear All] ボタンをクリックします。

ステップ 4 設定が完了したら、[Add New] をクリックして新しいコミュニティストリングを保存するか、[Save] をクリックして既存のコミュニティストリングへの変更を保存します。

ステップ 5 SNMP マスター エージェントを再起動するまで変更が有効にならないことを示すメッセージが表示されます。SNMP マスター エージェントを再起動せずに設定を続行するには、[Cancel] をクリックします。SNMP マスター エージェント サービスを再起動するには、[OK] をクリックします。



(注) すべての SNMP 設定が終了するのを待ってから、SNMP マスター エージェント サービスを再起動することをお勧めします。サービスを再起動する方法については、P.11-1 の「サービスの設定」を参照してください。

[SNMP Community String Configuration] ウィンドウの表示が更新されます。作成したコミュニティストリングがウィンドウに表示されます。

追加情報

P.15-12 の「関連項目」を参照してください。

コミュニティストリングの設定値

表 15-1 は、コミュニティストリングの設定値を示しています。関連する手順については、P.15-12 の「関連項目」を参照してください。

表 15-1 コミュニティストリングの設定値

フィールド	説明
Server	<p>P.15-2 の「コミュニティストリングの検索」の手順ですすでにサーバを指定しているため、[SNMP Community String Configuration] ウィンドウにあるこの設定は、読み取り専用として表示されます。</p> <p>コミュニティストリングのサーバを変更するには、P.15-2 の「コミュニティストリングの検索」の手順を実行します。</p>
Community String	<p>コミュニティストリングの名前を入力します。名前には、英数字、ハイフン (-)、アンダースコア (_) の任意の組み合わせで、最大 32 文字を指定できます。</p> <p> ヒント 外部者にわかりにくいコミュニティストリング名を選択してください。</p> <p>コミュニティストリングを編集する場合、コミュニティストリングの名前を変更することはできません。</p>
Accept SNMP Packets from any host	<p>すべてのホストから SNMP パケットを受信するには、このオプション ボタンをクリックします。</p>
Accept SNMP Packets only from these hosts	<p>指定したホストからのみ SNMP パケットを受信するには、このオプション ボタンをクリックします。</p> <p> ヒント [Host IP Address] フィールドに、パケットの送信元のホストを入力し、[Insert] をクリックします。パケットの送信元のホストごとに、このプロセスを繰り返します。ホストを削除するには、[Host IP Addresses] リスト ボックスからホストを選択し、[Remove] をクリックします。</p>

表 15-1 コミュニティストリングの設定値 (続き)

フィールド	説明
Access Privileges	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、次に示す適切なアクセス レベルを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ReadOnly : コミュニティ ストリングは、MIB オブジェクト値の読み取りのみが可能です。 • ReadWrite : コミュニティ ストリングは、MIB オブジェクト値の読み取りと書き込みが可能です。 • ReadWriteNotify : コミュニティ ストリングは、MIB オブジェクト値の読み取りと書き込みに加えて、MIB オブジェクト値のトラップおよび通知メッセージの送信が可能です。 • NotifyOnly : コミュニティ ストリングは、MIB オブジェクト値のトラップおよび通知メッセージの送信のみが可能です。 • None : コミュニティ ストリングは、読み取り、書き込み、トラップ情報送信のいずれも不可能です。 <p> ヒント トラップの設定パラメータを変更するには、コミュニティ ストリングに NotifyOnly 特権または ReadWriteNotify 特権を設定する必要があります。</p>
Apply To All Nodes	<p>コミュニティ ストリングをクラスタ内のすべてのノードに適用するには、このチェックボックスをオンにします。</p>

コミュニティ スtring の削除

コミュニティ スtring を削除するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** P.15-2 の「[コミュニティ スtring の検索](#)」の説明に従って、コミュニティ スtring を検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストで、削除するコミュニティ スtring の横のチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** **[Delete Selected]** をクリックします。
- ステップ 4** システムがこのコミュニティ スtring に関連する通知エントリを削除することを示すメッセージが表示されます。削除を続行するには、**[OK]** をクリックします。
- ステップ 5** SNMP マスター エージェントを再起動するまで変更が有効にならないことを示すメッセージが表示されます。SNMP マスター エージェントを再起動せずに設定を続行するには、**[Cancel]** をクリックします。SNMP マスター エージェント サービスを再起動するには、**[OK]** をクリックします。



ヒント すべての SNMP 設定が終了するのを待ってから、SNMP マスター エージェント サービスを再起動することをお勧めします。サービスを再起動する方法については、[P.11-6 の「Control Center におけるサービスの開始、停止、再起動、および状況更新」](#)を参照してください。

ウィンドウが更新されると、削除したスString は結果に表示されなくなります。

追加情報

P.15-12 の「[関連項目](#)」を参照してください。

SNMP 通知先

次の項では、サポートする SNMP バージョンに応じた SNMP 通知先の設定について説明します。

SNMP V1/V2c

- [通知先の検索 \(SNMP V1/V2c\) \(P.15-8\)](#)
- [通知先の設定 \(SNMP V1/V2c\) \(P.15-9\)](#)
- [通知先の設定値 \(SNMP V1/V2c\) \(P.15-10\)](#)
- [通知先の削除 \(SNMP V1/V2c\) \(P.15-11\)](#)

SNMP V3

- [通知先の検索 \(SNMP V3\) \(P.16-7\)](#)
- [通知先の設定 \(SNMP V3\) \(P.16-8\)](#)
- [通知先の設定値 \(SNMP V3\) \(P.16-9\)](#)
- [通知先の削除 \(SNMP V3\) \(P.16-10\)](#)

通知先の検索 (SNMP V1/V2c)



ヒント

[SNMP Notification Destination Configuration] ウィンドウに [Add New] ボタンが表示されるのは、[Find] ボタンをクリックした場合のみです。通知先が存在しない状態で通知先を追加する場合は、[Find] ボタンをクリックし、ウィンドウが更新されるまで待ちます。[Add New] ボタンが表示されます。

V1/V2c の通知先を検索するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [Snm] > [V1/V2c] > [Notification Destination] の順に選択します。

検索と一覧表示のウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [Find Notification where Destination IP] ドロップダウン リスト ボックスから、通知先の検索に使用する特定の検索基準を選択します。

ステップ 3 検索する通知先を入力します。

ステップ 4 [Server] ドロップダウン リスト ボックスから、通知先をサポートするサーバのホスト名または IP アドレスを選択します。

ステップ 5 [Find] をクリックします。

[Find] ボタンをクリックすると、[Add New] ボタンが表示されます。検索結果が表示されると、[Apply to All Nodes] チェックボックスが表示されます。

ステップ 6 検索結果に表示されているいずれかのオプションの設定をクラスタ内のすべてのノードに適用する場合は、オプション名の横のチェックボックスをオンにし、[Apply to All Nodes] チェックボックスをオンにします。

ステップ 7 検索結果に表示されているいずれかの項目の設定を表示するには、その項目をクリックします。

ステップ 8 通知先を追加または更新する場合は、[P.15-9 の「通知先の設定 \(SNMP V1/V2c\)」](#)を参照してください。

追加情報

[P.15-12 の「関連項目」](#)を参照してください。

通知先の設定 (SNMP V1/V2c)

V1/V2c の通知先 (トラップ / 通知の受信者) を設定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 P.15-8 の「通知先の検索 (SNMP V1/V2c)」の手順を実行します。

ステップ 2 次のいずれかの操作を実行します。

- 新しい SNMP 通知先を追加する場合は、[Add New] ボタンをクリックし、[ステップ 3](#) に進みます。
検索と一覧表示ウィンドウの [Server] ドロップダウン リスト ボックスで選択したサーバの通知先を設定します。
- 既存の SNMP 通知先を変更する場合は、通知先を検索し ([P.15-8 の「通知先の検索 \(SNMP V1/V2c\)」](#)を参照)、編集する SNMP 通知先の名前をクリックして、[ステップ 3](#) に進みます。
- SNMP 通知先を削除する場合は、[P.15-11 の「通知先の削除 \(SNMP V1/V2c\)」](#)を参照してください。

ステップ 3 [表 15-2](#) の説明に従って、設定値を入力します。



ヒント

ウィンドウ内の各設定に対して入力した情報をすべて削除するには、設定を保存する前に、[Clear] ボタンをクリックします。

ステップ 4 [Insert] をクリックして通知先を保存するか、[Save] をクリックして既存の通知先への変更を保存します。

ステップ 5 SNMP マスター エージェントを再起動するまで変更が有効にならないことを示すメッセージが表示されます。SNMP マスター エージェントを再起動せずに設定を続行するには、[Cancel] をクリックします。SNMP マスター エージェントを再起動するには、[OK] をクリックします。



(注)

SNMP 設定が終了するのを待ってから、SNMP マスター エージェント サービスを再起動することをお勧めします。サービスを再起動する方法については、[P.11-1 の「サービスの設定」](#)を参照してください。

追加情報

[P.15-12 の「関連項目」](#)を参照してください。

通知先の設定値 (SNMP V1/V2c)

表 15-2 は、V1/V2c の通知先の設定値を示しています。関連する手順については、P.15-12 の「関連項目」を参照してください。

表 15-2 通知先の設定値 (V1/V2)

フィールド	説明
Server	P.15-8 の「通知先の検索 (SNMP V1/V2c)」の手順ですすでにサーバを指定しているため、この設定は読み取り専用として表示されます。 通知先のサーバを変更するには、P.15-8 の「通知先の検索 (SNMP V1/V2c)」の手順を実行します。
Host IP Addresses	ドロップダウン リスト ボックスから、トラップ宛先のホスト IP アドレスを選択するか、[Add New] を選択します。[Add New] を選択した場合は、トラップ宛先の IP アドレスを入力します。 既存の通知先について、ホスト IP アドレスの設定を変更することはできません。
Port Number	フィールドに、SNMP パケットを受信する通知先サーバが通知を受信するポート番号を入力します。
V1、V2C	[SNMP Version Information] ペインで、該当する SNMP バージョンのオプション ボタンである [V1] または [V2C] のいずれか（使用する SNMP のバージョンによって異なる）をクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> • [V1] を選択した場合は、コミュニティ スtring を設定します。 • [V2C] を選択した場合は、通知タイプを設定し、次にコミュニティ スtring を設定します。
Community String	ドロップダウン リスト ボックスから、このホストが生成する通知メッセージで使用するコミュニティ スtring 名を選択します。 最下位の通知特権 (ReadWriteNotify または Notify Only) を持つコミュニティ スtring のみが表示されます。このような特権を持つコミュニティ スtring を設定していない場合、ドロップダウン リスト ボックスにオプションは表示されません。必要に応じて [Create New Community String] ボタンをクリックし、コミュニティ スtring を作成します (P.15-3 の「コミュニティ スtring の設定」を参照)。
Notification Type	ドロップダウン リスト ボックスから、適切な通知タイプを選択します。
Apply To All Nodes	通知先の設定をクラスタ内のすべてのノードに適用するには、このチェックボックスをオンにします。

通知先の削除 (SNMP V1/V2c)

通知先を削除するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** P.15-8 の「通知先の検索 (SNMP V1/V2c)」の説明に従って、通知先を検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストで、削除する通知先の横のチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** [Delete Selected] をクリックします。
- ステップ 4** 通知エントリを削除するかどうかを確認するメッセージが表示されます。削除を続行するには、[OK] をクリックします。
- ステップ 5** SNMP マスター エージェントを再起動するまで変更が有効にならないことを示すメッセージが表示されます。SNMP マスター エージェントを再起動せずに設定を続行するには、[Cancel] をクリックします。SNMP マスター エージェント サービスを再起動するには、[OK] をクリックします。



ヒント

すべての SNMP 設定が終了するのを待ってから、SNMP マスター エージェント サービスを再起動することをお勧めします。サービスを再起動する方法については、P.11-1 の「サービスの設定」を参照してください。

ウィンドウが更新されると、削除した通知先は結果に表示されなくなります。

追加情報

P.15-12 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [簡易ネットワーク管理プロトコルの概要 \(P.14-1\)](#)
- [コミュニティストリングの検索 \(P.15-2\)](#)
- [コミュニティストリングの設定 \(P.15-3\)](#)
- [コミュニティストリングの設定値 \(P.15-4\)](#)
- [コミュニティストリングの削除 \(P.15-6\)](#)
- [SNMP 通知先 \(P.15-7\)](#)
- [通知先の検索 \(SNMP V1/V2c\) \(P.15-8\)](#)
- [通知先の設定 \(SNMP V1/V2c\) \(P.15-9\)](#)
- [通知先の設定値 \(SNMP V1/V2c\) \(P.15-10\)](#)
- [通知先の削除 \(SNMP V1/V2c\) \(P.15-11\)](#)
- [SNMP V3 の設定 \(P.16-1\)](#)
- [MIB2 システム グループの設定 \(P.17-1\)](#)